

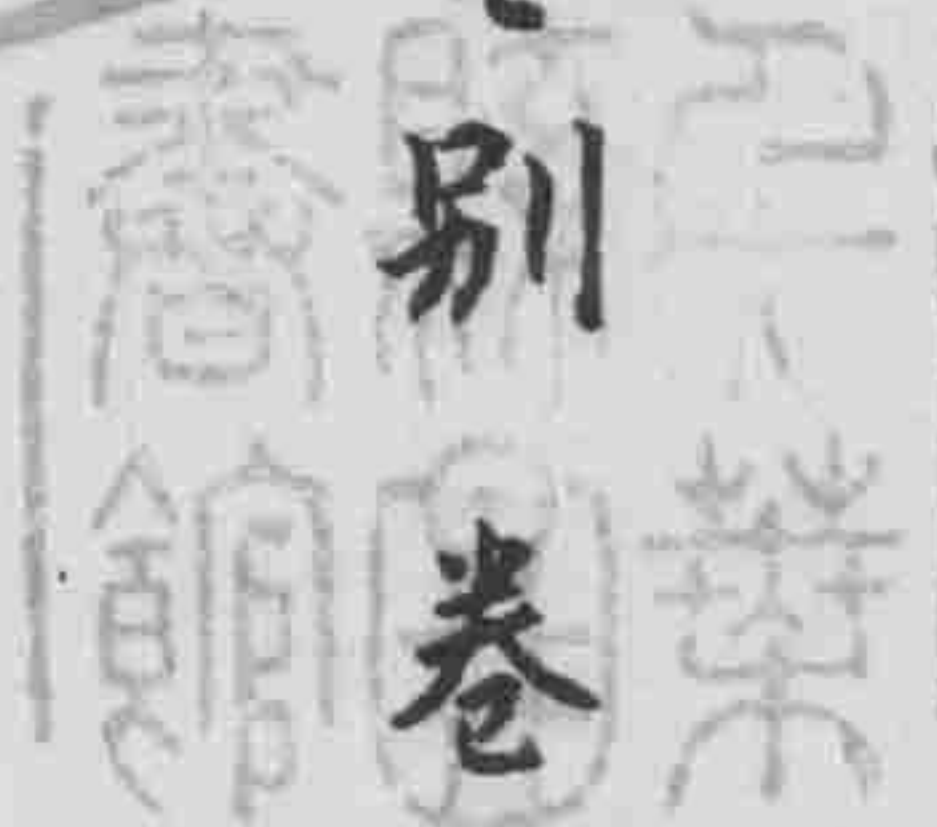
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

紀元二千六百年
念

房總叢書

別卷

其索
他引





「紀元二千六百年 房總叢書」終刊の辭

すでに幾度か計畫され、果さるべくして遂に果し得られなかつた「房總叢書」が、こゝに紀元二千六百年奉祝記念事業として皇國未曾有の大非常時下に完成され、豫定の如く「別巻」を贈呈するを得たことは、會員諸君と共に深く喜ぶところで、郷土の隠れた故賢に對し蘋藻を供へ、房山總水ために容を改めて來るの感がある。

或は、本叢書の編纂ぶりについて専門家の間に異つた見方をする者があるかも知れぬ。しかし、郷土の人々、特に研究者に對し、結局多くの得難い史料を提供し得た點には何人も異論あるまい。この叢書を基本として更に研鑽討覈されるならば、依て以て舊記傳説の眞偽を判別し、訛謬を反證することが出來得るのみならず、併せて未知の事蹟を發揮し、未聞の史實を發見すること亦少くないであらう。勿論、資料の未だ匣底に潜んで本叢書の掲載に漏れたものが相當あるべき筈で、それらを集大成しながら「續房總叢書」・「續々房總叢書」の刊行される機會も、何時か必ず來なければならぬ。敢て後の人に期待するものである。

願れば刊行を企て、二箇年半、その間、種々の困難の伴ふべきは最初から覺悟してゐたのであるが、殆ど眼につく程の支障もなく一切を完了し得られた事は、各位と共に同慶に堪へないところである。

叢書刊行の實務總指揮に専任理事廿日出于葉縣圖書館長が奔走され、編輯につき稻葉專任委員の奮闘は固より奥山・小原兩委員を始め各委員の御盡力を煩はし、又、庶務會計一切について土屋圖書館司書が受持たれた事に

對し厚く謝意を表すると共に、共同印刷株式會社が多忙且工員不足の折柄にも拘らず、松本専務・田子課長兩氏御配慮の下に本叢書のため終始御協力下された事に對しても衷心より感謝する次第である。たゞ、刊行中に白鳥庫吉・森蟲稔兩顧問が逝去され、會長立田清辰氏また中道にして物故された。其他役員及び編輯委員中の完成を見ずして世を去られた方々に敬弔の誠を捧げる。

全會員に「別卷」を贈呈するに當り、一言以て終刊の辭とする。

昭和十八年五月

紀元二千六百年
念 房總叢書刊行會

別卷(索引)について

別卷の主體は「索引」である。「索引」あつて、初めて其の書が活用されるといふ。わが「房總叢書」の如き特に然りである。はじめ「索引」は人名部・地名部・雜部に大別した上、

一、既に讀方を心得てゐる者のために五十音順で引くもの。

二、未だ讀方を知つてゐない者のために漢字の劃數で引くもの。

この二通り併載の豫定であつたが、紙數の都合で前者だけとし、後者を「索引難訓一覽」に代へた。

「索引」の人名部作製について特記したいのは第二卷軍記である。軍記の大部分は其の性質が假作的であるため人物氏名の引用に首肯し得られないものが甚だ多く、結局、信用の出來ない者は省略せざるを得なかつた。例へば、第二卷三八〇頁に里見義弘鴻の臺出陣の隨從者を擧げてあるが、第七行の堀江四郎左衛門以下の五十人は、印藤式部と三浦五郎左衛門とを除けば、他は悉く「里見九代記」の分限帳(五五頁―六〇頁)又は「里見安房守忠義公家中帳」(第三卷)にある者で、この分限帳は慶長八年(二二六三)三十一歳で歿した義康の時のものであり、忠義公家中帳は更に其の後のものであるから、永祿七年(二二二四)の鴻の臺戦に堀江以下が揃つて參加したとは受取り難い。勿論作者の筆都合に由るものとして「索引」へは登載しないのである。又、第二卷の「關八州古戦録」が「北條五代記」に依據したことは明白であるから、同一事件で後者から収録した人名は前者から

省略した。即ち鴻の臺驛に於ける里見方の戦死者名を四四四頁(關八州古戦録抄)から取らないで四八六頁(北條五代記抄)から取つた如きである。

「索引」の地名部については、地名の讀方を出來るだけ調査して振假名を施した。縣内各町村の大字だけは東葛飾郡の一部を除けば殆ど出盡してゐることと思ふ。なほ、「索引」は「正誤表」で誤脱を訂正したものに從つて作製した。不完全ながら、他日「房總事彙」編纂の時が來たら、どうか、此の「索引」の活用されますやう私は念じてゐる。

次に「正誤表」について一言したい。この「正誤表」に誤植・脱植の大部分は掲げてあるが、まだ誤植の見落しあることを私とて氣づかぬではない。剩へ原本・類本そのものにも不備あるは、例へば第二卷「里見九代記」の宇部彦次郎(四九頁一〇行)宇部一本彦四郎(五六頁上段三行)が同一人らしく、これを同卷「里見代々記」は宇部宮彦次(九三頁三行)とし、「房總里見軍記」は宇部宮庄次郎(三四五頁五行・三四七頁二行)としたり宇部庄次郎(三五二頁二行・三五五頁一〇行・三五九頁八行)としたり、第三卷の「小倉本里見家系圖」は宇津彦次郎(四五六頁一三行)里見安房守忠義公家中帳」は宇部彦次郎(四八八頁下段五行)第九卷「里見家分限帳」は宇津彦五郎(三七六頁下段九行)で、確實な文書を得ぬ限り宇部か宇津かさへ決定されない。斯くの如き未解決及び誤植の見落しについては、私も今後の考究を怠らないが、既に第一卷「例言」で切願した通り後人の是正を期待したい——昭和十八年五月十日別巻原稿作成の半歳に亘る閉居を終へて

(稻葉隣作)

「紀元二千六百年 房總叢書」別卷(索引) 目次

紀元二千六百年 念房總叢書總目錄……………一

索引難訓一覽……………七

紀元二千六百年 念房總叢書索引……………一九

一、人名部……………二二

二、地名部……………二二

三、雜部……………二二

紀元二千六百年 念房總叢書正誤表……………二五七

紀元二千六百年 念房總叢書刊行會々則及役員・會員名簿……………二九三

目次(終)

「紀元二千六百年
念」房總叢書「總目錄

△書名二字下げは解説のみのもの。
△書名下の括弧内は編著者の氏名

清宮秀堅遺稿下總ヲ
大久保文書
郷土へ報知のため抹消

第一卷

△縁起

- 下總式社考 (清宮秀堅)
- 上總國神社志料 (邨岡良弼)
- 安房國神社志料 (邨岡良弼)
- 香取私記抄 (久保木清淵)
- 神名帳考證抄 (伴信友)
- 本朝諸社一覽抄 (坂内直頼)
- 小御門神社御由來記 (澤田總右衛門)
- 坂東觀音靈場記抄 (釋亮盛)
- 上總寺社縁起 (秦穩丸)

△古文書

- 正倉院文書抄
- 中山法華經寺文書
- 房總叢書總目錄

眞間山弘法寺文書
總寧寺文書

觀福寺文書

下總大慈恩寺文書

安房國妙本寺文書

大巖寺・本土寺・東漸寺文書

神崎神社文書

大須賀文書

大戸神社文書

船橋大神宮文書

築田文書

金澤文庫古文書抄

上杉家文書抄

毛利家文書抄

常總遺文 (色川三中)

房總古文書雜纂

香取文書纂

第二卷 (軍記)

清宮秀堅遺稿下總ヲ
大久保文書

結城戰場物語

結城合戦繪詞

里見九代記

里見代々記

總州久留里軍記

房總治亂記

笹子落草紙

中尾落草紙

國府臺戰記

國府臺合戦物語

小弓御所様御討死軍物語

房總軍記

房總里見軍記

關八州古戰錄抄

北條記抄

北條五代記抄(三浦淨心)

鎌倉管領九代記抄

中興武家盛衰記抄

東國戰記抄

常總國戰見聞私記抄

關東兵亂記抄

第三卷(史傳一)

將門記

千葉實錄

千葉傳考記

千學集抄

妙見實錄千集記

總葉概錄(磯邊昌言)

房總里見誌(岡島成邦)

小倉本里見家系圖

管窺武鑑抄(夏日定房)

里見安房守忠義公家中帳

房總逸史(鶴岡安宅)

里見安房實記

里見義堯室追善說

第四卷(史傳二)

坂東八館譜(宮本元球)

土氣城雙廢記

土氣古城再興傳來記

南總酒井傳記

秋元公御由來

高城家由來書

白井家由來拔書

佐倉宗五郎實記(續簡)

萬石騷動日錄

市兵衛記(林信篤其他)

下總法難記

關宿傳記(今泉政隣)

佐倉藩雜史(平野知秋)

房總外艦警備文書

東金記錄

東金城明細記

文貞公事蹟考(伊能穎則)

下總國舊事考抄(清宮秀堅)

關宿藩右筆萬控

亞墨利駕船渡來日記

第五卷(史傳三)

明治戊辰房總戰亂記

總房鎮撫日誌

雨城兵要小錄(森勝藏)

雨城の夢(森勝藏)

眞忠組浪人討伐始末

元治元年常總見聞志

松山戰爭

第六卷(地誌一)

房總志料(中村國香)

房總志料續篇(田丸健良)

上總志總論(立野良道)

上總志引用書目(立野良道)

上總志料附安房志料(立野良道)

葛飾誌略

佐倉風土記(磯邊昌言)

安房國地名考(秦檣丸)

安房國舊跡地名管見(粕谷八作)

房總志料別本(鶴岡安宅)

南總珍(渡邊寛)

埴生郡開見漫錄(深河元偽)

第七卷(地誌二)

南總郡郷考(島海醉車)

房陽郡郷考(島海醉車)

房陽郡郷考(島海醉車)

上總國郡沿革考(秦檣丸)

下總莊園考(郡岡良弼)

安房・上總・下總(郡岡良弼)

上總國誌(安川惟禮)

千葉縣古事志(嶺田楓江)

房總三州漫錄(深河元偽)

房總叢書總目錄

上總町村誌(小澤治郎右衛門)

安房(内務省地理局)

上總國誌稿(内務省地理局)

安房風土聞書(眞田爲憲)

房總雜記(嶺田楓江)

下總高神村舊記

第八卷(日記・紀行)

房總遊覽誌(堀江是顯)

金ヶさく紀行(中村國香)

下總名勝圖繪(宮負定雄)

南遊紀行(高橋克庵)

房總游乘(郡岡良弼)

遊房總記(小野正端)

甲寅紀行(徳川光圀)

狗日記(松平定信)

成田の道の記

船橋紀行(守默庵)

小金紀行二篇(友田次寛)

浪淘集(梁川星巖)

北總詩誌(清宮秀堅)

北總詩史(郡岡良弼)

房州雜詠(宮澤竹堂)

南遊詩草(並木栗水)

總房詩史(阿部貞)

葛飾記(青山某)

觀海漫錄(小川泰堂)

沿海測量日記抄(伊能忠敬)

神野山日記(間宮永好)

香取參詣記(久保木清淵)

香取の日記(加藤千蔭)

總常日記抄(清水濱臣)

成田名所圖繪(中路定俊)

利根川圖志(赤松宗旦)

刀禰川游記(渡邊華山)

刀禰の河舟(安川柳溪)

千葉日記(郡岡良弼)

成毛五郎兵衛江戸日記

菅谷又左衛門日記

口まめ草(大原幽學)

上總紀行 (石井周庵)
 小金の御狩 (成島峰雄)
 匯海探奇 (菅某)
 成田土産 (一瓢樵夫)
 南總紀行旅眼石 (十返舎一九)
 船橋詣の記 (友田次寛)
 勝鹿手くりふね (鈴木金堤)
 房州六社詣
 南遊雜記 (安積良齋)

正木家譜 (丸山可澄)
 喜連川判鑑
 上總武田氏系圖
 秋元系圖
 香取系圖
 飯篠系圖
 千葉東氏系圖 (東將胤)
 古河公方系圖
 結城家譜
 酒井氏家系

第九卷

△系圖

千葉大系圖 (千葉重胤)
 松蘿館本千葉系圖
 神代本千葉系圖
 大須賀家系圖
 君島系圖
 千葉白井家譜 (白井秀胤)
 里見系圖 (丸山可澄)

里見家分限帳
 安房國村高帳 (鳥海醉車)
 上總國村高帳
 下總各村級分
 上總戸口錄
 天正年間水繩帳
 里見分限帳別本
 安房國寺院明細帳

△石高帳

△雜書

里見家分限帳
 安房國村高帳 (鳥海醉車)
 上總國村高帳
 下總各村級分
 上總戸口錄
 天正年間水繩帳
 里見分限帳別本
 安房國寺院明細帳

房州寺社領九十八ヶ所私控帳
 土氣東金兩酒井改帳
 東金城明細記
 下總國御改革組合寄場
 上總國御改革組合寄場
 房總各藩草高一覽

椿新田開發記
 續保定記 (久松宗作)
 東金御鷹場舊記
 乙卯歲金原御獵記
 嶺岡五牧鏡
 漁村維持法抄 (佐藤信季)
 總牧奇觀 (菱川泰嶺)
 椿新田開發事略 (菅親和)
 椿湖開鑿年表 (伊藤謙邨)
 關東蠲網來由記

第十卷

内洋經緯記 (佐藤信淵)
 下總巡覽圖集

△抄本

古事記抄 (太安麿)
 日本書紀抄 (舍人親王其他)
 萬葉集抄
 古語拾遺抄 (齋部廣成)
 高橋氏文抄 (高橋氏)
 延喜式抄 (藤原忠平其他)
 類聚三代格抄 (藤原冬嗣其他)
 類聚符宣抄抄
 朝野群載抄 (三善爲康)
 拾芥抄抄 (洞院公賢)
 倭名類聚鈔抄 (源順)

今昔物語集抄

さらしな日記抄 (菅原孝標女)
 吾妻鏡抄
 參考太平記抄 (今井弘濟其他)
 鎌倉大章紙抄
 廻國雜記抄 (准后道興)
 東路のつと抄 (柴屋軒宗長)
 鹿島日記抄 (高田與清)
 神鳳鈔抄
 六國史抄 (菅原眞道其他)
 類聚國史抄 (菅原道眞)
 大日本史抄 (徳川光圀)
 大日本野史抄 (飯田忠彦)
 藩翰譜抄 (新井白石)
 和漢三才圖會抄 (寺島良安)

別卷

日本總國風土記抄
 相馬日記抄 (高田與清)
 枕山詩鈔抄 (大沼枕山)
 安房志料引用書目 (立野良道)

叢書總目錄
 索引難訓一覽
 叢書索引
 一、人名部
 二、地名部
 三、雜部
 叢書正誤表
 叢書刊行會役員名簿
 同會員名簿

索引難訓一覽

△人名地名その他で讀方の知れないものは、語の第一字の畫數により、こゝで讀方を調べられる。例へば「美努射ミヌザ」を知らぬ人は、語の第一字の畫數を調べれば「美努射」を見つけたら、その讀方を知ることが出来る。△語の一部しか掲げないのがあるから、例へば「美努射」を見つけたら、その讀方を知ることが出来る。△語の一部しか掲げないのがあるから、例へば「美努射」を見つけたら、その讀方を知ることが出来る。

- | | | | | | | |
|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>一 一色イツシキ 一松ヒトツマツ 乙王オトワウ 乙濱オトハマ</p> | <p>十三門戸トヨミ ト杭ボツクヒ 八田沼ヤタヌマ 八部ヤツベ 力丸リキマル</p> | <p>三 大鹿オホカ 大賀オホガ 大學口オホガグチ 大帷オホカタビラ 大上オホカミ 大私部オホキサイベ 大畔オホクロ</p> | <p>大 大椎オホジイ 大蛇オホジャ 大田學オホタガク 大角オホトガリ 大伴オホトモ 大瀨オホヌマ 大根オホネ 大禰宜オホネギ 大廻オホバ 大庭オホバ 大結オホヒ 大生オホフ 大布日オホフヒ 大間手オホマテ</p> | <p>大 大厩オホマヤ 大谷木オホヤギ 大谷オホヤツ 大谷流オホヤル 大房ダイフサ 大武タイム 大里ダイリ 大和タイワ 大豆谷マメザク 小久保タクボ 小座ヲザ 小堀ヲツネ 小田喜ヲダキ 小田部ヲタツベ 小戸ヲド</p> | <p>二 二十五里ツイヒヂ 二子村フタゴムラ 丁荷テガ 丁子ヨボロコ 十村トムラ</p> | <p>小 小土呂ヲドロ 小壑田ヲハルタ 小横ヲビツ 小生田ヲブタ 小弓ヲユミ 小堤ヲンヅミ 小浦コクラ 小蘭コクキ 小隈コグマ 小作コサク 小佐部コサブ 小志駒コシコマ 小幡コバタ 小堀コハナハ 小浮コブケ</p> |
|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

小蓋コブタ
小間子コマゴ
小苗コミヨウ
小母佐コモサ
小谷田コヤダ
小谷流コヤル
小食土ヤサシド
小田ヤマタ
女食ヲナメシ
女郎メラ
上代カジロ
上郷カミノガウ
上谷中ジャウヤナカ
川合カハヒ
川在カハザイ
川代カハシロ
久々田クマタ
久枝クシ
久志クシ
久士崎クシザキ

久津間クヅマ
久能クノウ
久留里クルリ
下内橋ゲナイバシ
下傍示サゲホウジ
下河邊シモカウベ
子一分コイチブ
三枝サイグサ
三川サンガハ
三途臺サンヅノダイ
三階ミカイ
三箇尻ミカシリ
三畔ミクロ
三前ミサキ
三又ミツガヒ
三作ミツサク
三衆ミモロ
三好ミヨシ
千田セシダ
千波センバ

千種チグサ
土岐トキ
土氣トケ
土師部ハニシベ
支部ハセツカベ
山祇ヤヤズミ
孔王部アナホベ
天面アマツラ
天羽アマハ
天邊アマベ
天比理アメノヒリ
天子丸テゴマル
五十土イカヅチ
五十藏イツクラ
五反保ゴタツボ
五田保ゴタツボ
不入斗イリヤマズ

不入フニフ
木鷲樽ウケタル
木下キオロシ
木間瀬コマガセ
内遠野ウトフノ
内裏塚ダイリツカ
内木ナイキ
屯倉ヲダラ
反町カヘリマチ
欠眞間カケマ、
刈谷カリヤ
日部クサカベ
日下部クサカベ
日利根ニツトネ
日渡根ニツトネ
日當ヒナタ
日秀ヒビリ
日置ヘキ
毛見川ケミガハ
手置タオキ

四

勾屋マガリヤ
水口ミヨウグチ
六崎ムツサキ
六手ムテ
夫妻石メヲトイシ
月出ヤマナシ
曰理ヲタリ
分郷ワカリガウ
分目ワシメ

五

穴太部アナホベ
甘利アマリ
禾生アハフ
石井イシキ
石室イハムロ
石寸部イハレベ
石納コクナフ
打路木ウチロギ

打墨ウツミ
白蛤ウムキ
白渚シラスカ
占部ウラベ
永地エイチ
生麻オヒテ
生尾オヒテ
生實オヒミ
生谷オブカイ
他田ヲサタ
乎那ヲナ
可兒カニ
加島カシマ
加曾利カソリ
加村カムラ
加毛カモ
加良妻木カラメキ
甲和カハワ
左往馬キタサマ
北幸谷キタノカウヤ

北風原ナラヒバラ
北方ボクケ
北下臺ホウケダイ
北下臺ホツケダイ
巨備ヲカシク
巨麻コマ
古河コガ
古敷谷コシキヤ
古都邊コツベ
古府里コフリ
古牟呂コムロ
古茂口コモグチ
古和コワ
古溝フセ
古津フツツ
古椀フルマリ
札森サツモリ
四天木シテギ
四方木ヨモギ
末珠名スエノタマナ
匣瑳サフサ

田上タガミ
田尾タビ
田間タマ
田馬タマ
旦谷タンヤ
氏胡テコ
外野トガノ
外川トガハ
外部田トノベタ
冬父トブ
奴賀ヌガ
氷室ヒムロ
布鎌フガマ
布佐フサ
布施フセ
布西フセイ
布田フダ
布斗フツツ
布沼フヌマ
布野フノ

布方フハ
布良メラ
平日鹿ヒラヒカ
平郡ヘイゴホリ
平群ヘグリ
平久里ヘグリ
平館ヘダテ
目邊マノアタリ
目篠メサ、
目出度メツタ
用草モチクサ
矢口ヤコウ
矢作ヤハギ
由井ユキ

六

安久谷アクヤ
安食アジキ
安須アス

安蘇アビル
安布里アブリ
安波アハ
安房アハ
安倍アンバイ
安馬谷アンバヤ
有吉アリヨシ
伊自牟イジム
伊甚イジミ
印波イナバ
臼井ウスキ
瓜坪ウツボ
宇藤木ウドキ
宇筒原ウドハラ
宇那谷ウナヤ
江古田エコタ
江辨須エベス
江渡ゴウト
合戸ゴフト
吉岡キチチカ
ヨシチカ

吉澤キツサハ
吉宇ヨシウ
刑部オサカベ
衣川キヌガハ
行々林オドロバヤシ
行内ギヤウチ
行徳ギヤウトク
行馬ギヤウマ
行貝ナメガヒ
行方ナメカタ
行川ナメカハ
弘法寺グホフジ
色益シカヤ
色陀シコタ
多古タコ
多高タコ
多々良タカラ
寺作テラサク
寺谷テラサク
百米木ドウメキ

百鉢モホコ
名都借ナツカリ
成東ナルトウ
牟那ムザ
羽斗ハバカリ
羽生ハブ
米原マイバラ
米倉ヨナダラ
米満ヨナミツ
巨理ワタリ
七

伊許保止イコホト
伊已侶止イコロト
伊都許利イツコリ
伊南イナン
夷瀼イシミ
夷北イホウ
邑陀オフダ
邑修オフダ
尾上ヲカミ
尾株ヲホネ
尾車ビシヤ
忍オシ
忍シノブ
忍男オシヲ
忍田オシダ
忍立オシタテ
忍足オシタリ
忍海部オシノミベ
男女浦ヲメノウラ
貝渚カヒスカ
角來カクライ

一〇
角田ツノダ
舍富里ガンフリ
私部キサイベ
求名グメウ
車持クラモチ
玖璃璃クルマモチ
花見川ケミガハ
花房ハナハ
見物ケンブツ
作掛サクカケ
作草部サクサベ
作名サクナ
作壁サクカベ
佐介谷サスケダニ
佐三サセ
佐是サセ
谷三倉サハミクラ
谷幡タニハタ
谷部ハセベ
谷ヤツ

谷津ヤツ
谷當ヤタウ
谷中ヤナカ
谷向ヤムカヒ
谷本ヤモト
志澤シザハ
志田シダ
志面地シメヂ
宍倉シ、クラ
社家シヤケ
住母家スモゲ
言美トミ
伴直トモノアタヒ
伴部トモベ
伴バン
坂田バンダ
芳芽ホウメ
武士タケシ
武社ムサ
武射ムサ

武妖ムザ
本師モクシ
八
青馬アウメ
阿須波アスハ
阿取防アスハ
阿玉アタマ
阿比留アビル
阿保アボ
阿八アハ
東殿アヅマドノ
東トウ
東平トウヘイ
東浪見トラミ
味戸アヂト
味木アマキ
味庄ミシヤウ
英保アナチ

岩間狭イハマサ
岩將イハマサ
岩曲イハ、
空穂坂ウツボザカ
雨露ウルト
表可ウハカ・ヲカ
岡波太ヲカナブト
於幾オキ
於賦オフ
狎猿ヲシクマ
金作カナガサク
金窪カナクボ
金谷カナヤ
金餘カナマリ
金丸カナマル
金鱗カネウロコ
金尾カンノテ
金東コヅカ
金剛地コンゴウチ
河曲カハクマ
カハクマ

來左馬キタサマ
來次キツギ
來海クルミ
來里クルリ
來秀ライシウ
京田キヤウデン
杳見クツミ
幸島カウジマ
幸田カウダ
幸治カウヂ
忽戸コツト
周維シウラ
周准スエ
周西スサイ
周集ス、
周唯スタ
周東ストウ
泚種ス、
運璫サフサ
建市タケチ

建比良タケヒラ
建御雷タケミカヅチ
兒の原チゴノハラ
兒の宮チゴノミヤ
取香トツカウ
取立トツタテ
舍人トネリ
泥灣トロクマ
長谷ナガイ
長狹ナガサ
長作ナガサク
長石ナガシ
長渚ナガスガ
長柄ナガラ
法喜ノリキ
法木ノリキ
法目ホフギ
波佐間ハサマ
波多野ハタノ
波生ハブ
一一

波太ハブト
 玢師馬フシマ
 奉免ホウメイ
 松厓マツギシ
 松谷マツガヘ
 明金ミヤウガネ
 明根ミヤウガネ
 妻郎メヲ
 茂木モトギ
 茂名モトナ
 茂侶モロ
 茂治モロ
 物部モノ、ベ
 門奈モンナ
 油井ユキ
 油江ユエ
 油田ユダ
 依古島ヨコシマ
 依田ヨダ
 若麻績部ワカラミベ

九

茜津アカネヅ
 荒野アレノ
 砂子瀬イサゴゼ
 砂田イサゴダ
 砂村イサゴムラ
 疣八幡イボハチマン
 神窪イモノクボ
 カジロ
 カウジロ
 神代カシノ
 カハラ
 カマシロ
 神餘カシノ
 カシノアマリ
 神野カノウ
 神能カノウ
 神窪カノウ

神崎カウザキ
 神足カウザキ
 神生カウザキ
 神門カウザキ
 神房カウザキ
 神宮カウザキ
 神々カウザキ
 神保カウザキ
 後草ウシロクサ
 姥山ウバヤマ
 勃起松オツタチマツ
 音信山オトヅレヤマ
 負野オフノ
 面賀オモガ
 面上メンジャウ
 香木原カギハラ
 香村カウムラ
 香谷カウヤツ
 狩野カノウ

草田カヤタ
 草野カヤノ
 草下部クサカベ
 草牛ソウギウ
 柏田カヤタ
 迦羅鳴起カラメキ
 城上キノヘ
 城ジャウ
 城西ジャウサイ
 城谷ジャウヤツ
 軍荼利グンダリ
 狐糸コイト
 首藤シユトウ
 相里サウリ
 刺金ソリガネ
 亭南テウナン
 津富良ツブラ
 度毛トモ
 南敷ナシキ
 南城ナシキ

南白龜ナバキ
 南波佐間ナハサマ
 南留別志ナルベシ
 怒田ヌダ
 保毛ボケ
 保科ホシナ
 保品ホシナ
 洞石ホライシ
 柁木マサキ
 美努射ミヌザ
 美々ミ、
 若我澤ミヤウガザハ
 序マウケ
 啓師オキアイ
 染鞆ソメシリガヒ
 祖母神バ、ガミ
 〇
 畔代アシロ

畔田アゼタ
 畔治アハル
 畔蒜アヒル
 畔戸アヒル
 畔洲アヒル
 畔上アゼガミ
 海士アマ
 海部アマ
 海老敷エビシキ
 海鰈山エビヤマ
 海保カイホウ
 海發カイホウ
 荒笈アラオヒ
 荒久アラクト
 荒海アラミ
 息栖イキス
 家子イヘノコ
 院成インナリ
 烏宿ウシユク
 馬來田ウマクダ
 マクダ

馬野ウマノ・マノ
 馬乘連バジヨウリ
 馬不入谷マイラヌ
 馬加マクハリ
 馬立マコタチ
 馬波マノアタリ
 馬登マノボリ
 馬橋マバシ
 馬往馬メウワウ
 埋田ウメタ
 狢作ヲギサク
 借當カシヤダ
 蚊壺澤カツボザハ
 兼陀カネダ
 株浦カブラ
 株木カブラキ
 島矢カブラ
 島穴シマナ
 釜生カマナ
 栢橋カヤハシ

鬼泪キナダ
 桐谷キリサク
 桑納クワノウ
 桑良クワラ
 桑橋ソウノハシ
 酒直サカナホ
 酒々井シユスキ
 狹限サクマ
 狹麻サフサ
 眞倉サナダラ
 眞谷シンカヤ
 眞名シンミヨウ
 眞髮マンナ
 眞龜マガメ
 眞敷マシキ
 眞間マ、
 眞世宇良マヨウラ
 眞里谷マリヤツ
 眞行マンナ
 眞浦モウラ

側高ツバタカ
 脇高ツバタカ
 高家カウケ
 高生カカオヒ
 高城タカギ
 高階タカシナ
 高籠タカハシ
 高籠タカタツ
 高望タカモチ
 珠浦タマノウラ
 砥河トカハ
 迹太川トホガハ
 莫越山ナコシヤマ
 浪逆ナサカ
 浪太ナブト
 能實ノウジツ
 能満ノウマン
 能見峯ノミガネ
 秦ハタ
 華英ハナブサ
 書卷川フミマキガハ

宮城ミヤギ
 宮谷ミヤザク
 涉ワタリ
 麻生アサフ
 麻織ナミ
 麻原マハラ
 麻綿原マメハラ
 麻里谷マリヤ
 麻呂マロ
 零塚アマゴヒツカ
 淡水門アハノミナト
 都部イチブ
 都築ツマキ
 菟上ウナカミ
 望陀ウマダ
 望西ウマウセイ
 望知マウチ

望井モチキ
推幡オシハタ
御宿オンジユク
御達報ゴタツボウ
御厨ミクリヤ
御骸ミクロ
御子神ミコガミ
御庄ミシヤウ
御靈社ミタマノシヤ
御筒ミツツ
御總野ミフサフ
鹿草カクサ
鹿黒カグロ
鹿津カツ
鹿沼カヌマ
鹿子カノコ
鹿戸カノト
鹿波カノト
鹿野カノウ
釣子浦ヘウシウラ

粕谷カスヤ
菊麻キクマ
魚尾山ギヨビサン
黄和田キワタ
陸原クガハラ
葉麻クハマ
現田ゲンダ
許我コガ
國分コクブ
國本コクモト
國府關コフゼキ
國府臺コフノダイ
雀部ササキベ
設樂シダラ
菅生スガフ
巢田スダ
清名幸谷セイナゴヤ
清宮セイミヤ
理倉ソネアヒ
健田タケダ

鳥背テウシ
鳥羽トツバ
鳥見トミ
鳥屋野トヤフ
鳥喰トリハミ
造海ツクロウミ
嘲海ツクロミ
常羽イクハ
常代トコシロ
常世田トコヨダ
野呂ノロ
野牛ヤギウ
野新田ヤシンデン
埴石ハニシ
埴生ハニフ・ハブ
埴谷ハニヤ
深志フカンヤ
深山ミヤマ
符馬フマ
部原ヘバラ

蛇園ヘビゾネ
梁瀬ヤナセ
梁田ヤナダ
粟飯原アヒバラ
粟宇アハウ
粟生アハフ
粟斗アハト
朝夷アサヒナ
朝生原アサフバラ
朝山アシタヤマ
朝柄トモガラ
飯岡イヒナカ
飯篠イヒザサ
飯重イヒジウ
飯富イヒトミ
飯瀨イヒヌマ

飯貝イガヒ
飯給イタア
飯櫃イビツ
飯山間ハサマ
植房ウエボウ
越智ヲチ
落旗臺オツバタダイ
飯富オフ
飽富オフ
雄蛇池ヲジヤガイケ
温石チンジャク
葛西カサイ
葛東カトウ
葛浦カツウラ
葛饒カツシカ
葛籠カツシカ
葛飾カツシカ
葛間カツマタ
葛籬カツラ
葛の井カツラノキ

葛原カツラハラ
葛浦ツナハラ
葛崎クズウラ
葛間クズサキ
管濱カタミノハマ
箕カケヒ
勝鹿カツシカ
勝牡鹿カツシカ
勝間田カツマタ
勝占カツラ
給田キフデン
結佐ケツサ
結城ユフキ
猿島サシマ
寒川サンガハ
須惠スエ
曾谷ソヤ
董橋タマスバシ
番塚ツガヒヅカ
富城トギ

富部臺トヘダイ
富津フツツ
富良木フラギ
塔陀タフタ
鉦切ナタキリ
穀塚ヌカヅカ
登戸ノブト
萩園ハギゾネ
椅原ハシハラ
酢取ハトリ
備川ヒガハ
鈿師フシ
紫藤瘤フヂコブ
傍示戸パウジト
堀籠ホウメ
堀切谷ホツキダニ
發坂ホツサカ
發知ホツチ
萬喜マンギ
萬木マンギ

蛟蝮ミヅチ
湯坐ユエ
鳥解橋ツヌキバシ
喜連川キツレガハ
會賀アヒガ
會戸クラト
悪繰アクル
菟塚アザミヅカ
葦浦アシノウラ
新生アラオヒ
新笈アラオヒ
新田アラタ
新達ニイダ
新里ニツサト
新妻ニツツマ
新橋ニツバシ
新部ニツベ

新屋ニフヤ
意富比オホヒ
意布オフ
意部オフ
匯海探奇クワイカイ
楫取カトリ
經田キヤウデン
經津主フツヌシ
群房ゲンバウ
郷部ゴフブ
園生エンノウ
達良タハラ
爺ヶ臺トトガイ
滑川ナメカハ
滑谷ヌカリヤ
滑山ヌカリヤマ
梗津ヌカツ
墳屋ハンヤ
逸栗ヘグリ
遍田ヘタ

稚子直ヲクコノ
絳根アカネ
猿尾サラゴ
蓬島ヨモギガシマ
榎澤エノサハ
數馬カズマ
管見カツミ
管屋スガヤ
嘉藤洲カトウス
嘉谷カヤ
鳴矢カブラ
幾與宇キヨウ
養蠶川コガヒガハ
種泚ス
墨田スダ
墨名トナ
榛谷ハンヤ

賦馬フマ
滿祿マロ
綿貫ワタヌキ

一五

網戸アジト
網代アジロ
編玉アタマ
餘戸アマリベ
稷山アハヤマ
諏訪スハ
潮來イタコ
稻庭イナムハ
稻荷木トウカギ
稻荷山トウカヤマ
磐鹿イハカ
磐田イハタ
請悪ウケチ
請戸ウケト

請西ジャウサイ
潤井戸ウルキド
潤野ウルヒノ
燕里カブサト
燕木カブラキ
監物ケンモツ
實門ミカド
實穀ミモミ
薄島ス、キジマ
磯森スルスモリ
墳崎ツカサキ
鴉之嶺トウガネ
鴉谷トウヤ
劍持ケンモチ
幡部ハブ
幡間ハマ
播羅ハラ
樋口ヒグチ
樋扶ヒツハ
摩免戸マメト

横栗ヨクリ
横渚ヨコスカ

一六

縣神社 アガタジン
澳津オキツ
膳臣カシハデノオミ
機取カトリ
龜甲キツカフ
薦野コモノ
篠子サ、ゴ
篠本サ、モト
篠山サ、ヤマ
篠籠田シコタ
篠生シノフ
菌村ソノムラ
橋川タチバナ
遅歩庵チブアン
錦織ニシゴリ

箕岡ミネラカ
箕輪ミノソ
鎌浦カトリウラ

一七

彌富イヤトミ
彌勒ミロク
彌喜用ヤキモチ
彌正ヤマサ
齋主イハヒヌシ
齋部インベ
濕津ウルヒツ
糟谷カスヤ
糟瓜カソリ
總牛ソウギウ
闇籠クラオカミ
檢儀谷原ケギヤハラ
檢見川ケミガハ
鮭延サケノブ

鷹摺ササラスリ
鍋冠ナベカブリ
臂曲ヒジマガリ
鴻臺コウノダイ
嶺岡ミネラカ
嶺田ミネタ
築田ヤナダ
蕨ヒイガラ

一八

鑓取カギトリ
鵝鴨橋カモバシ
鎌輪カンワ
雑色ザツシキ
豊島トシマ
額田ヌカタ
樞扶ヒツバサマ
膽男官ミルヲノミヤ
蟲生ムシヤウ

一九

廬道イホチ
瀛津オキツ
疆山カギリノヤマ
横橋コテハシ
蘇谷ソヤ
藤瀨フヂヌマ
邊田ヘンダ
邊見ヘンミ
藻原モバラ

二〇

釋乃谷シヤクノヤ
耀窟テルイハヤ
寶貝ホウガヒ
寶米ホウメ
靈泉權現 ユノゴン
譽田林ヨダバヤシ
譯草ワケクサ
鶚大明神ワシ……

二一

竈社オカマシヤ
籠邊田カゴベタ
囉水ハヤシ
驛家ハユマヤ
鷓鴣嶋ウジマ
鷓鴣原ウバラ
鷲城ツルガシロ

索引難訓一覽 (終)

「紀元二千六百年
記念

房總叢書索引

- 一、人名部
- 二、地名部
- 三、雜部

△索引の①②……⑨⑩は巻數で、數字は叢書の頁數である。

△振假名は歴史假名遣を用ひたが、排列は發音假名遣に従つて五十音順にした。即ち

- 一、イキ及びイと發音するは全部イに入れた。
 - 二、エエ及びエと發音するは全部エに入れた。
 - 三、オヲ及びオと發音するは全部オに入れた。
 - 四、ワと發音するはハに、ジヂはジに、ズヅはズに入れた。
 - 五、キヤウ・キヨウ・ケウ・ケフは全部キヨウに、シヤウ・シヨウ・セウ・セフは全部シヨウに、チャウ・チヨウ・テウ・テフは全部チヨウに、ヒヤウ・ヒヨウ・ヘウは全部ヒヨウに、ミヤウ・メウは全部ミヨウに、リヤウ・リヨウ・ノウ、ホウ、モウ、ヨウ、ロウ等、濁音半濁音の場合も同様である。
- △同じ漢字で同じ讀方をするものは、混雜しない程度で一箇所に集めたものもある。
- 例へば、五十音順ならば

早崎八郎左衛門・林忠旭・林忠崇・林忠弘・林彈正左衛門・林播磨守・林武大夫・林文左衛門・早野庄右衛門・早船村善左衛門

とすべきを

早崎八郎左衛門・早野庄右衛門・早船村善左衛門・林忠旭・林忠崇……の順にした如きである。

△同一文字で讀方を異にするものは、例へば油田(あぶらで)の如く一々その旨を附記してある。(ユダも見よ)

索引
人名部

- 一、房總人か、又は房總國守等で特に知られた者の外は概ね省略した。例へば、源賴朝など各卷に散見するが一も採らなかつた如きである。(雜部に「賴朝卿の事跡」・「賴朝鞍掛石」は出してある)
- 二、頻出する氏名については、煩雜を避けるため重要ならざる個所を省略したものが多し。
- 三、同一人で異なる稱呼を用ひてある者は成るべく同一氏名下に收めた。例へば、伊能勘解由・伊能東河を伊能忠敬に入れた如きである。しかし、足利義實・里見義實の如く特に年代を示すため必要あるものは別々にしてある。
- 四、明に同一人と推定される者の氏名で文字を異にせるは、参考のため並掲したのが多い。例へば、白井俊胤と白井年胤、白井常康と白井常安、坪井定右衛門と坪井貞右衛門の如きである。

| | | | | | | | | | |
|---|-----------|---|----------|---|-----------|---|-----------|---|----------|
| ア |二三 | イ |二七 | ウ |三一 | エ |三五 | オ |三六 |
| カ |四二 | キ |四八 | ク |五〇 | ケ |五二 | コ |五二 |
| サ |五五 | シ |六〇 | ス |六四 | セ |六五 | ソ |六五 |
| タ |六七 | チ |七二 | ツ |七七 | テ |七八 | ト |七九 |
| ナ |八二 | ニ |八四 | ヌ |八五 | ネ |八六 | ノ |八六 |
| ハ |八六 | ヒ |九〇 | フ |九一 | ヘ |九二 | ホ |九二 |
| マ |九五 | ミ |一〇〇 | ム |一〇二 | メ |(ナシ) | モ |一〇三 |
| ヤ |一〇四 | | | ユ |一〇七 | | | ヨ |一〇八 |
| ラ |(ナシ) | リ |一〇八 | ル |(ナシ) | レ |一〇九 | ロ |一〇九 |
| ワ |一〇九 | | | | | | | | |

ア

| | | | | | |
|---------|------|-----------|------|---------|------|
| 會賀生倫 | ㊤五〇一 | 粟飯原五郎 | ㊤一六八 | 粟飯原文次郎 | ㊤一七三 |
| 栗飯原 | ㊤三四 | 粟飯原左衛門尉 | ㊤六〇 | 栗飯原文二郎 | ㊤二〇 |
| 栗飯原詮胤 | ㊤九三 | 栗飯原左兵衛尉 | ㊤五八 | 栗飯原文四郎 | ㊤二四三 |
| 栗飯原出雲守 | ㊤一三五 | 栗飯原三郎 | ㊤四六 | 栗飯原文三 | ㊤二一五 |
| 栗飯原右衛門尉 | ㊤一〇六 | 栗飯原三郎左衛門尉 | ㊤四六 | 栗飯原孫三郎 | ㊤二七 |
| 栗飯原尾張守 | ㊤一四 | 栗飯原下野守 | ㊤六五 | 栗飯原孫次郎 | ㊤一四 |
| 栗飯原河内守 | ㊤一四 | 栗飯原下總守 | ㊤三九六 | 栗飯原孫太郎 | ㊤一八七 |
| 栗飯原久四郎 | ㊤一八七 | 栗飯原十次郎 | ㊤二七 | 栗飯原孫平 | ㊤一四四 |
| 栗飯原清胤 | ㊤九六 | 栗飯原庄右衛門 | ㊤二二〇 | 栗飯原孫平太 | ㊤二四 |
| 栗飯原源公 | ㊤二二〇 | 栗飯原原莊左衛門 | ㊤三三六 | 栗飯原孫兵衛 | ㊤二七 |
| 栗飯原源公 | ㊤二二〇 | 栗飯原淨泉 | ㊤二八八 | 栗飯原孫光胤 | ㊤一四四 |
| | | 栗飯原助九郎 | ㊤一〇五 | 栗飯原光胤 | ㊤一四五 |
| | | 栗飯原惣二郎 | ㊤四六三 | 栗飯原内記 | ㊤一四九 |
| | | 栗飯原大學 | ㊤一八七 | 栗飯原彦五郎 | ㊤一〇三 |
| | | | | 栗飯原兵衛尉 | ㊤二七 |
| | | | | 栗飯原常直 | ㊤一〇五 |
| | | | | 栗飯原常行 | ㊤八〇 |
| | | | | 栗飯原常善 | ㊤一〇三 |
| | | | | 栗飯原藤五郎 | ㊤二七 |
| | | | | 栗飯原藤兵衛尉 | ㊤一四 |
| | | | | 栗飯原利胤 | ㊤二六九 |
| | | | | 栗飯原内記 | ㊤一四九 |
| | | | | 栗飯原文次郎 | ㊤一七三 |
| | | | | 栗飯原文二郎 | ㊤二〇 |
| | | | | 栗飯原文四郎 | ㊤二四三 |
| | | | | 栗飯原文三 | ㊤二一五 |
| | | | | 栗飯原孫三郎 | ㊤二七 |
| | | | | 栗飯原孫次郎 | ㊤一四 |
| | | | | 栗飯原孫太郎 | ㊤一八七 |
| | | | | 栗飯原孫平 | ㊤一四四 |
| | | | | 栗飯原孫平太 | ㊤二四 |
| | | | | 栗飯原孫兵衛 | ㊤二七 |
| | | | | 栗飯原光胤 | ㊤一四五 |
| | | | | 栗飯原保宗 | ㊤一八七 |
| | | | | 栗飯原六郎 | ㊤三四 |

| | | | |
|---------------|----------------|---------------|---------------|
| 青木久兵衛 ⑤ 七八 | 赤松上總介義則 ③ 四七 | 秋元政次 ④ 一二五 | 淺井八兵衛 ④ 三一四 |
| 青木七郎右衛門 ⑤ 一〇四 | 赤見貞 ⑤ 二六七 | 秋元政朝 ④ 一二四 | 淺井文助 ④ 一四 |
| 青木帶刀 ③ 二二九 | 明石三兵衛 ⑤ 二二二 | 秋元民部少輔 ④ 四三二 | 朝比奈三郎義秀 ③ 五一六 |
| ③ 二四二 ③ 三六二 | 秋末左近將 ④ 九 | 秋元泰業 ④ 三二一 | ⑥ 二七三 ④ 四二八 |
| ④ 一四 | 秋末將監 ④ 一六六 | 秋元義豐 ④ 一二五 | ⑦ 九一 ④ 四四二 |
| 青木安大夫 ④ 三八七 | 秋田村又兵衛 ④ 一八一 | 秋元義久 ④ 一二四 | ⑧ 一〇六 ③ 三五七 |
| ④ 三八九 ④ 四〇四 | 秋元氏 ④ 三二四 | 秋山久左衛門 ④ 一三二 | ⑨ 一九 ③ 三二五 |
| 青野新九郎 ③ 一〇五 | 秋元勘解由左衛門 ④ 四七六 | 秋山五郎左衛門 ④ 三八三 | ⑩ 三二七 ④ 四九九 |
| ④ 四三〇 | 秋元一政 ④ 一三三 | 秋山將監 ④ 三九七 | ⑪ 三二七 ④ 四九九 |
| 青野村縫之丞 ④ 七九 | 秋元上野介 ④ 四八三 | 秋山重左衛門 ④ 三五〇 | ⑫ 四一八 |
| 青葉新兵衛 ④ 三九六 | 秋本左近將監 ④ 二五〇 | 秋山大學 ④ 一三〇 | 朝倉景隆 ⑥ 六四 |
| 青葉新六 ④ 三七六 | 秋元將監 ④ 四七五 | 秋山彌次郎 ④ 三五〇 | 朝倉藤左衛門 ⑤ 一三〇 |
| 青柳健之助 ⑤ 五 | 秋元但馬守 ④ 四七九 | 亞久留王 ④ 六九 | 淺見七兵衛 ④ 三二六 |
| 粟生村總兵衛 ④ 一七四 | ④ 四七二 ④ 一七八 | 惡織王 ④ 二四三 | 足利家基 ④ 七六 |
| 赤井村雅樂介 ④ 六三 | ④ 二九八 | 朝井金左衛門 ④ 三二二 | ③ 三一 |
| 赤岸兵藏 ⑤ 七八 | 淺生主水 ④ 二四九 | 朝井金兵衛 ④ 三六二 | 足利永壽王 ④ 二〇四 |
| 赤座壽兵衛 ⑤ 一五 | 淺生主水正 ④ 四五六 | 淺井多内 ⑤ 九八 | 足利上總三郎 ④ 三三三 |
| 赤坂 丹後 ④ 四一八 | 淺生主水助 ④ 一三〇 | 淺井大助 ④ 二四二 | 足利成氏 ④ 二〇四 |
| 赤澤城右衛門 ④ 四六六 | ④ 一三四 一五 | 淺井豐次郎 ④ 四八七 | ④ 三九二 ④ 二九八 |
| 赤塚 丹後 ④ 三二二 | ④ 六三 ④ 三三七 | | ④ 四二五 |

| | | | |
|--------------|--------------|-----------------|--------------|
| 足利晴氏 ⑤ 三〇二 | 麻生主水 ④ 二三九 | 孔王部美努久咩 ④ 一五〇 | 阿部式部 ⑤ 四一〇 |
| 足利持氏 ④ 二 | ④ 二四五 | ④ 四八一 | 阿部駿河守 ④ 四九一 |
| 足利義明 ④ 一七〇 | 淺生主水正 ④ 四五六 | 孔王部山麻呂 ④ 四八二 | ④ 四九二 ④ 五一〇 |
| ③ 二一七 ③ 三二〇 | ④ 一三〇 | 姉前社住人兼祐 ④ 三一八 | ④ 五一三 |
| ④ 四六三 ④ 五 | ④ 一三四 一五 | 姉崎村五郎 ④ 四九四 | 阿部節造 ⑤ 四二五 |
| ④ 二二七 ④ 一六三 | ④ 一六六 | 姉ヶ崎屋四郎右衛門 ④ 二〇二 | 阿部徳二郎 ⑤ 四一〇 |
| ④ 一〇二 | 麻利利器 ④ 一六六 | あひすの君 ④ 一六一 | 阿部正恒 ⑤ 四 |
| 足利義氏 ④ 三八六 | 足立庄九郎 ④ 六五 | 我孫子但馬守 ④ 一三二 | ⑤ 一五 一六 |
| ④ 二五四 | ④ 九六 ④ 二二二 | 安藤伊豫守 ④ 一三〇 | ⑤ 九三 ④ 二一九 |
| 足利義實 ④ 七四 | ④ 三三三 ④ 九 | 安藤靜意 ④ 一二九 | ⑤ 二八 ④ 三三四 |
| ③ 三一二 ③ 四四六 | 足立勝九郎 ④ 四五九 | 安藤但馬守 ④ 一三〇 | ⑤ 三五 一 |
| 足利頼基 ③ 三六〇 | 熱田馨山 ④ 二二一 | 安藤丹後守 ④ 一二九 | 天津下總守 ④ 二四七 |
| 芦野丹波守 ④ 一一〇 | 熱田丹後守 ④ 一三一 | 安藤備前守 ④ 一三二 | 天津日子根命 ④ 三一 |
| 葦原四郎 ④ 五 | ④ 二二九 ④ 二四六 | 安藤兵庫 ④ 一三二 | 天富命 ④ 七九 |
| 網代久右衛門 ④ 三四八 | ④ 二四八 ④ 四五七 | 油田七郎 ④ 一九六 | ⑦ 八九 ④ 二二一 |
| 東殿 ④ 一四三 | ④ 一四 | 安布里村勘兵衛 ④ 一八七 | ⑧ 二〇 ④ 二二〇 |
| 敵上元甫 ④ 四二二 | 英保純行 ④ 一四 | 阿部因幡守 ④ 五三四 | 天野鏡太郎 ④ 四八八 |
| ④ 四五四 | 穴太郎阿古實 ④ 四七八 | 阿部邦太郎 ④ 四一六 | 天野與右衛門 ④ 二九二 |
| 麻生淡路守 ④ 一〇八 | | | ④ 四二一 ④ 四二二 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|-------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 甘利三右衛門 四二九五 | 天押帯日子命 六三三一 | 天楯玉命 七九三 | 天比理乃咩命 六一二八 | 天比理刀咩命 六一二八 | 天日鷲命 八四〇一 | 天太玉命 九三三 | 天羽九郎 二〇九 | 天羽眞常 三〇七 | 天羽庄司 六一五二 | 天羽庄次郎 三〇九 | 天羽次郎 三三六 | | | | |
| 天羽藤左衛門 一〇二 | 天羽直胤 五〇〇 | 天羽秀當 二二八六 | 天羽田村太郎兵衛 一七七 | 新井郷左衛門 一三〇 | 新井鍛久之進 四〇九 | 荒井岩尾 四三〇 | 荒井欽吾 七九 | 荒井忠介 四三二 | 荒井鐵之介 一一二 | 荒井文山 八四三 | 荒井平太夫 二九五 | 荒井安治 三八二 | | | |
| 荒井村重左衛門 九三 | 荒川市郎兵衛 三八三 | 荒川小八 四五九 | 荒川八九郎 三二〇 | 荒木一郎 四九 | 荒木勘兵衛 四〇六 | 荒木代右衛門 四六二 | 荒木辰之助 四二二 | 荒木常太郎 四六五 | 荒木隼太 四九八 | 荒木禰惣 四七三 | 荒見小四郎 一九九 | 荒山左衛門尉 四五八 | 栗田鷹守 一三七 | 安房守光業 八六 | 安房守憲基 四九六 |
| 安房入道 四一四 | 安房判官代高重 八二 | 安房判官代隆重 一〇〇 | 安房平太 三〇〇 | 安房又太郎 三五五 | 安王丸 三五五 | 安西明景 二五〇 | 安西伊勢守 二五六 | 安西市正 二五〇 | 安西伊豫守 一六七 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 安西右京 四九 | 安西景明 八二 | 安西景鎮 四一四 | 安西景春 二〇三 | 安西景政 七八 | 安西景盛 四九六 | 安西景吉 二八七 | 安西勝峯 七六 | 安西源之進 一〇七 | 安西左京 九三 | 安西左京亮 四六四 | 安西實元 一七〇 | 安西三郎 三一四 | 安西三郎景益 八一 | 安西三郎景益 八一 | |
| 安西式部 四八 | 安西七郎 一八九 | 安西正右衛門 二五三 | 安西四郎 五一 | 安西助三郎 一七一 | 安西助重 二〇四 | 安西太夫 五二二 | 安田太郎 三二五 | 安西遠江守 一三一 | 安西豊綱 二四六 | 安西中務 三五九 | 安西八郎 四 | 安西民部 六三 | 飯尾市左衛門 二九二 | 飯尾豊前守 三四八 | |
| 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 | 安西彌三郎 三三六 | 安西彌七郎 一〇〇 |

| | | | |
|------------------|----------------|---------------------|-----------------|
| 飯倉源内 ③三四六 | 飯沼殿 ④四九六 | 池浦甚五左衛門 ④一五三 | 伊許保止命 ⑥一一九 |
| 飯倉胤貞 ⑦一七九 | 家子村市兵衛 ④八〇 | 池浦甚五左衛門 ④二九六 | 伊許保止直 ⑥一一九 |
| 飯篠伊賀守直 ④四〇五 | 五百島 ⑦一九七 | 池浦甚五左衛門 ④三〇七 | 伊澤伴左衛門 ④三三〇 |
| ⑦一八三⑦一九七 | 庵原助左衛門 ③一四四 | 池浦甚五左衛門 ④三八八④三九六 | ④三三八④三四二 |
| ④二二④二七一 | 生田貢三 ⑤四六五 | 池浦宗考 ④四〇一④四一七 | 石井雅樂介 ③二〇六 |
| ④五〇⑦九③五三 | 生田五郎太夫 ⑤四六八 | 池上織衛 ⑤二二〇 | 石井周庵 ④五一五 |
| 飯島鐵太郎 ⑤七九 | ⑤四八三⑤四八八 | 池田雅樂介 ④一三〇 | 石井大和 ④一一 |
| 飯田繁右衛門 ④四七〇 | ⑤四九三 | 池田主計 ③一四九 | 石神藤十郎 ⑤七八 |
| 飯田惣右衛門 ④九八 | 生田錢三 ⑤四六一 | 池田久兵衛 ⑦四八二 | 石神彦兵衛 ③二五五 |
| 飯田忠右衛門 ④九八 | 生田爲治 ⑤四九九 | 池田介之丞 ④四六六 | 石川儀助 ④一九 |
| 飯田縫殿右衛門 ③三七九 | 井口宗兵衛 ④四七〇 | 池田善四郎 ③三八〇 | 石川能忠 ③二七七 |
| 飯高五郎入道 ③三八 | ⑤ | 池田太郎 ③八二 | 石川與兵衛 ④二九五 |
| 飯高四郎 ③一七四 | 幾世村權兵衛 ④七 | 池田平九郎 ④四二三 | 石倉清左衛門 ④四一三 |
| ③三三③二七三 | 幾世村七郎兵衛 ④二〇 | 池田與三左衛門 ④四二二 | 石黒平次兵衛 ④四〇八 |
| 飯高次郎 ④一七八 | 池内藏人 ③一〇六 | 池田因幡守 ④三七五 | 石嶋衛士左衛門 ④三三〇 |
| 飯高胤廣 ⑦一七六 | 池内助十郎 ③一〇五 | 井田胤宗 ⑦三六〇 | |
| ④二六二 | 池内胤相 ③一〇六 | 井田美濃守 ③一八六 | |
| 飯高彌二郎左衛門尉 ④三八 | ④四三〇 | 伊田文左衛門 ④一七一 | |

| | | | |
|------------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 石田新兵衛 ③三七一 | 石橋五 ④九八 | 井田因幡守 ④三七五 | 板倉左衛門佐 ④六八 |
| 石田常安 ⑦三六二 | 伊豆千代丸 ④三九四 | 井田胤宗 ⑦三六〇 | 松倉十平 ④九 |
| 石出將監 ③一三六 | 泉伊勢守 ③一五 | 井田美濃守 ③一八六 | 板倉十平治 ③二二三 |
| 石出次郎 ⑦一九〇 | 和泉馬之丞 ③一七 | 伊田文左衛門 ④一七一 | 板倉四郎左衛門 ③三八〇 |
| ④七八 | 伊西新介常景 ③四九七 | 伊田友胤 ⑦一四二 | 板倉清左衛門 ④二二三 |
| 石出帶刀 ③一五五 | 井關喜十郎 ⑤五一三 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板倉大藏 ④四五 |
| 石出胤朝 ③一五五 | 磯貝雲内 ④二六九 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板倉土佐守 ④四八二 |
| 石出日向守 ⑦一九〇 | 五十川中 ⑤七八 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板倉長門守 ④四三 |
| 石堂原加賀右衛門 ③三五〇 | 磯島隼人 ③三一九 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板倉内記 ④四四一 |
| 石橋勘解由 ③一七八 | 磯邊昌言 ③二五七 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板野刑部大夫 ③三九六 |
| ③一八一 | 磯矢平藏 ⑦一六七 | 板倉大炊助 ③一三九 | 板屋村平兵衛 ④一七〇 |
| 石橋財次郎 ⑤二二三〇 | ④二九五 | 板倉大炊助 ③一三九 | 一位 ④四九 |
| ⑤四〇九 | ④三〇三④三〇六 | 板倉大炊助 ③一三九 | |
| 石橋三郎左衛門 ②二〇 | ④三三四④三四六 | 板倉大炊助 ③一三九 | |
| ④七八④三七三 | ④三八五④四〇三 | 板倉大炊助 ③一三九 | |
| 石橋七郎二郎 ③一四九 | ④四〇六④四二六 | 板倉大炊助 ③一三九 | |
| 石橋主水 ④九八 | 磯矢與一右衛門 ④二九五 | 板倉大炊助 ③一三九 | |
| 石橋彌兵衛 ④三二九 | | 板倉大炊助 ③一三九 | |